

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	大阪市立デザイン教育研究所
設置者名	大阪市

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
工業専門課程	デザイン学科	夜・通信	1 2 3 単位	6 単位	
		夜・通信			
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

ホームページにて公表 http://www.omcd.ac.jp
--

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-②【(2)-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置】

※ 様式第2号の2-①に掲げる法人以外の設置者（公益財団法人、公益社団法人、医療法人、社会福祉法人、独立行政法人、個人等）は、この様式を用いること。

学校名	大阪市立デザイン教育研究所
設置者名	大阪市

1. 大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織

名称	教育課程編成委員会
役割	<ul style="list-style-type: none">・デザイナーとして必要な基礎スキルの向上を目的に専門共通科目を提言する。・デザイナーとして必要な企画・設計・施工・調整に関する実践力の向上を目的に専門科目を提言する。・企業が通常対応する課題に即した設定を行うことを目的に提言する。・問題解決の方法も企業が通常行う方法に即したものを目的に提言する。

2. 外部人材である構成員の一覧表

前職又は現職	任期	備考(学校と関連する経歴等)
大阪工業大学 工学部 空間デザイン学科 特任教授	平成25年11月20日 ～令和2年3月31日	外部の学術機関等の有識者 または産業振興に関する 知見保持者
(株)近創 経営企画部 課長	平成25年11月20日 ～令和2年3月31日	実務に関する知識、技術、 技能に関する知見保持者
(備考)		

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	大阪市立デザイン教育研究所
設置者名	大阪市

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>次年度の授業計画案ができた時点で教務会議を開催し、授業科目ごとの見直し検討を行った上で、各教科の重点課題について協議する。次に、教科担当者は重点課題を踏まえたうえで授業を計画し、共通フォーマットを使用してシラバスを作成する。</p> <p>新入生にはオリエンテーションにて説明し、在校生には年度の始業日に配布し説明しているほか、担当教員によっては授業の初回に直接学生に説明している。</p> <p>※授業計画(シラバス)は、現行は印刷物で配布しているが、2020年度分より学校ホームページにて公表予定である。</p>	
授業計画書の公表方法	印刷物による配布。2020年度分よりホームページにて公表予定 http://www.omcd.ac.jp
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>単位認定は、学則の「第4章 学科目、単位数および履修方法」、「第5章 教育課程および課程修了の認定」に基づいて行う。</p> <p>第5条(学科目・単位数)・第6条(授業)・第7、8条(履修の方法)・第9条(認定)・第10条(出席)・第11条(単位の認定)・第12条(学習の評価)・第13条(試験)・第14条(進級の認定)・第15条(卒業の認定)・第16条(卒業ならびに称号の付与)・第17条(留年及び在籍年限)を定めている。</p> <p>学科目シラバスには教科ごとに評価方法が記載されているが、すべては100点法を持って行い、60点を合格の基準とする。</p>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>成績評価の客観的指標として、GPA (Grade Point Average) を採用予定である。GPAでは、5段階評価(秀・優・良・可・不可)によってポイント化し、成績の分布状況を把握した上で、学生の学修指導に活用する。</p> <p>【判定・合格】評価(秀) : 評点(100~90点) *GP(4ポイント) 【判定・合格】評価(優) : 評点(89~80点) *GP(3ポイント) 【判定・合格】評価(良) : 評点(79~70点) *GP(2ポイント) 【判定・合格】評価(可) : 評点(69~60点) *GP(1ポイント) 【判定・不合格】評価(不可) : 評点(59点以下) *GP(0ポイント)</p> <p>※但し、現在籍学生に関しては、4段階評価(優・良・可・不可)となる。</p>	
客観的な指標の算出方法の公表方法	ホームページにて公表 http://www.omcd.ac.jp
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>卒業認定の条件は</p> <ul style="list-style-type: none"> ・履修単位数が85単位以上の者。 但し、講義科目40単位以上、実習科目40単位以上とする。 ・必修科目の単位が認定された者。 <p>上記結果をもって卒業認定会議を開催し、要件を満たしていると判断された場合に卒業を認定している。</p>	
卒業の認定に関する方針の公表方法	ホームページにて公表 http://www.omcd.ac.jp

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	大阪市立デザイン教育研究所
設置者名	大阪市

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	
収支計算書又は損益計算書	
財産目録	
事業報告書	
監事による監査報告（書）	

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	デザイン学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	85 単位時間/単位	6.3単位	1.4単位	10.1 単位	0単位	0単位
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
90人		68人	0人	6人	32人	38人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）次年度の授業計画案ができた時点で教務会議を開催し、授業科目ごとの見直し検討を行った上で、各教科の重点課題について協議する。次に、教科担当者は重点課題を踏まえたうえで授業を計画し、共通フォーマットを使用してシラバスを作成する。</p> <p>新入生にはオリエンテーションにて説明し、在校生には年度の始業日に配布し説明しているほか、担当教員によっては授業の初回に直接学生に説明している。</p> <p>※授業計画（シラバス）は、学校ホームページにて開示している。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <p>成績評価の客観的指標として、GPA（Grade Point Average）を採用予定である。5段階評価（秀・優・良・可・不可）によって、授業科目ごとに採点を行い、秀・優・良・可（100～60点）を合格とし、不可（59点以下）を不合格とする。</p> <p>※但し、現在籍学生に関して、4段階評価（優・良・可・不可）での判定となる。</p>

卒業・進級の認定基準
(概要) 進級条件：1 学年の必修科目の単位が認定され、履修単位数が 40 単位以上の者。 卒業条件：必修科目の単位が認定され、履修単位数が 85 単位以上の者。 但し、講義科目 40 単位以上、実習科目 40 単位以上とする。
学修支援等
(概要) チューター制により、学生への個別面談を行い、学業面及び生活面を含めた問題の有無を確認し、状況に応じた適切な指導を行う。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
38人 (100%)	0人 (0%)	35人 (92%)	3人 (8%)
(主な就職、業界等) 自動車会社、デザイン事務所、印刷会社、WEB制作会社、映像制作会社、他。			
(就職指導内容) 専任教員が、直接学生に就職にあたっての基礎知識や活動方法、企業の選び方、履歴書をはじめとした各書類の作成方法、および面接での対応方法までを指導する。 デザイン業界から求められるポートフォリオの作成方法を指導する。 自動車業界に対する知見を深めるセミナーの開催 ハローワークから講師を招いてのセミナー開催			
(主な学修成果（資格・検定等）) なし			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
64人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 出席管理を行い、遅刻・欠席等が増えてきた時点で、学生本人との面談を実施する。 保護者とも連絡を取り、適切な指導を行う。		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
デザイン学科	169,200 円	390,000 円	140,000 円	大阪市住民及びその子
デザイン学科	260,600 円	390,000 円	140,000 円	その他の者
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) ホームページにて公表 http://www.omcd.ac.jp		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制)		
<ul style="list-style-type: none"> ・評価委員会は自己評価・外部アンケート評価をもとに学校関係者評価を行う。 ・評価委員会は学校関係者と共通理解を持ち、学校の改善のために連携・協力・助言・支援を行う。 ・評価委員会の実施した学校関係者評価・学校の改善のための連携・協力・助言・支援を公表する。 委員は3名程度選出し、任期は2年(再任を妨げない)で、定例会は年1回実施する。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
大阪商工会議所 西支部 事務局長	平成29年4月1日～ 令和3年3月31日	企業等委員
大阪市立第二工芸高等学校 校長	平成30年4月1日～ 令和2年3月31日	学術機関の有識者
大阪市立デザイン教育研究所 後援会長	平成25年11月28日 ～令和2年3月31日	後援会
学校関係者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) ホームページにて公表 http://www.omcd.ac.jp		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) ホームページにて公表 http://www.omcd.ac.jp
